

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	自殺企図者が地上面で活動（屈折はしご車の設定中）していた隊員の近くに落下してきた事例
3. 体験した事例の中心的要素	ゴルフ練習場ネット支柱（高さ約20mの位置）に自殺企図者が登った状態で横に移動中であり、救出のため屈折はしご車の設定をしていたところ、自殺企図者が活動隊員の近く（約3m）に落下したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ現場に2回目の出場（1回目は救出）だったため、気持ちに油断が生じた。 ・要救助者が屈折はしご車の使用限界（21m）に近い高さにいたため、支柱に近い場所に停車した。 ・現場指揮者及び救助隊長が要救助者の監視・呼びかけをしていたが、支柱上の要救助者が横に移動したため転落の危険大となり、救出を急いだため

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 20 年 5 月 27 日 午前 2 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：ゴルフ練習場ネット支柱下駐車場
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる
7. 事例体験時の活動	救助、現場活動初期 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	救出準備作業
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[35]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[17]年、階級[消防司令補]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[車長]
○当事者B	年齢[30]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防副士長]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[機関員]
○当事者C	年齢[28]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10]年、階級[消防副士長]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	当事者D 年齢26歳 勤続4年 現場経験4年 階級 消防副士長 初めて 隊員

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	要救助者の監視・呼びかけを現場指揮者にまかせ、救出準備活動をした	
経過2	当事者B	要救助者の動向を確認せずに救出準備活動をした	
経過3	当事者C	要救助者の動向を確認せずに救出準備活動をした	
経過4	当事者D	要救助者の動向を確認せずに救出準備活動をした	
経過5	当事者A	屈折はしご車アウトリガー設定位置を指示	指示後、要救助者が近くに転落
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

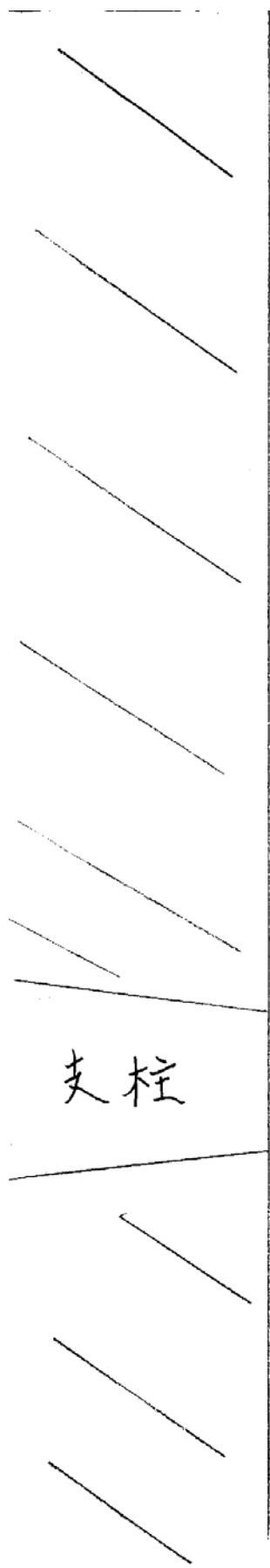


○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

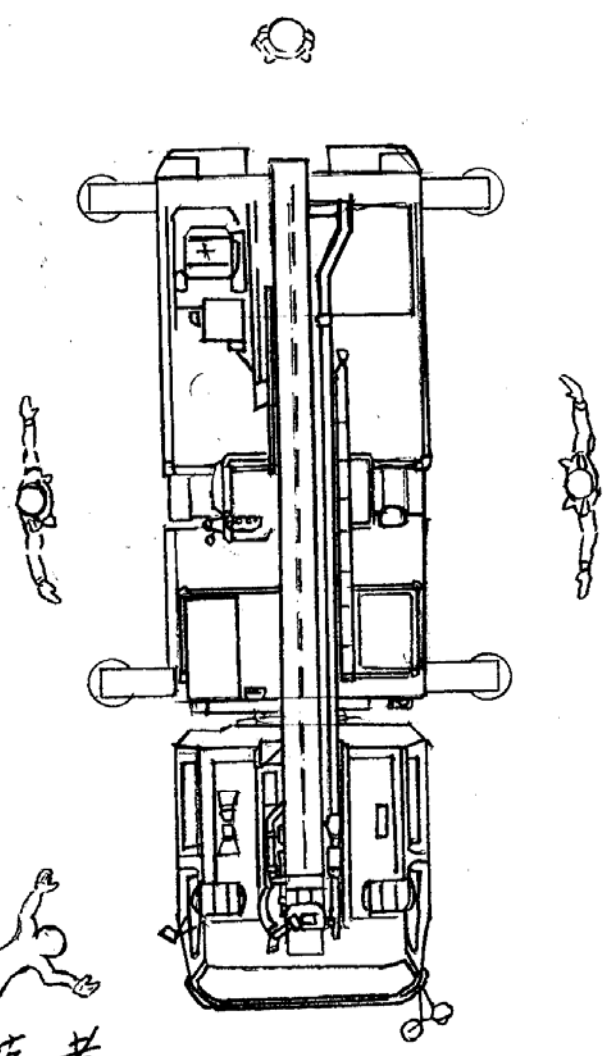
○指揮・情報伝達の対策について



支柱



転落者

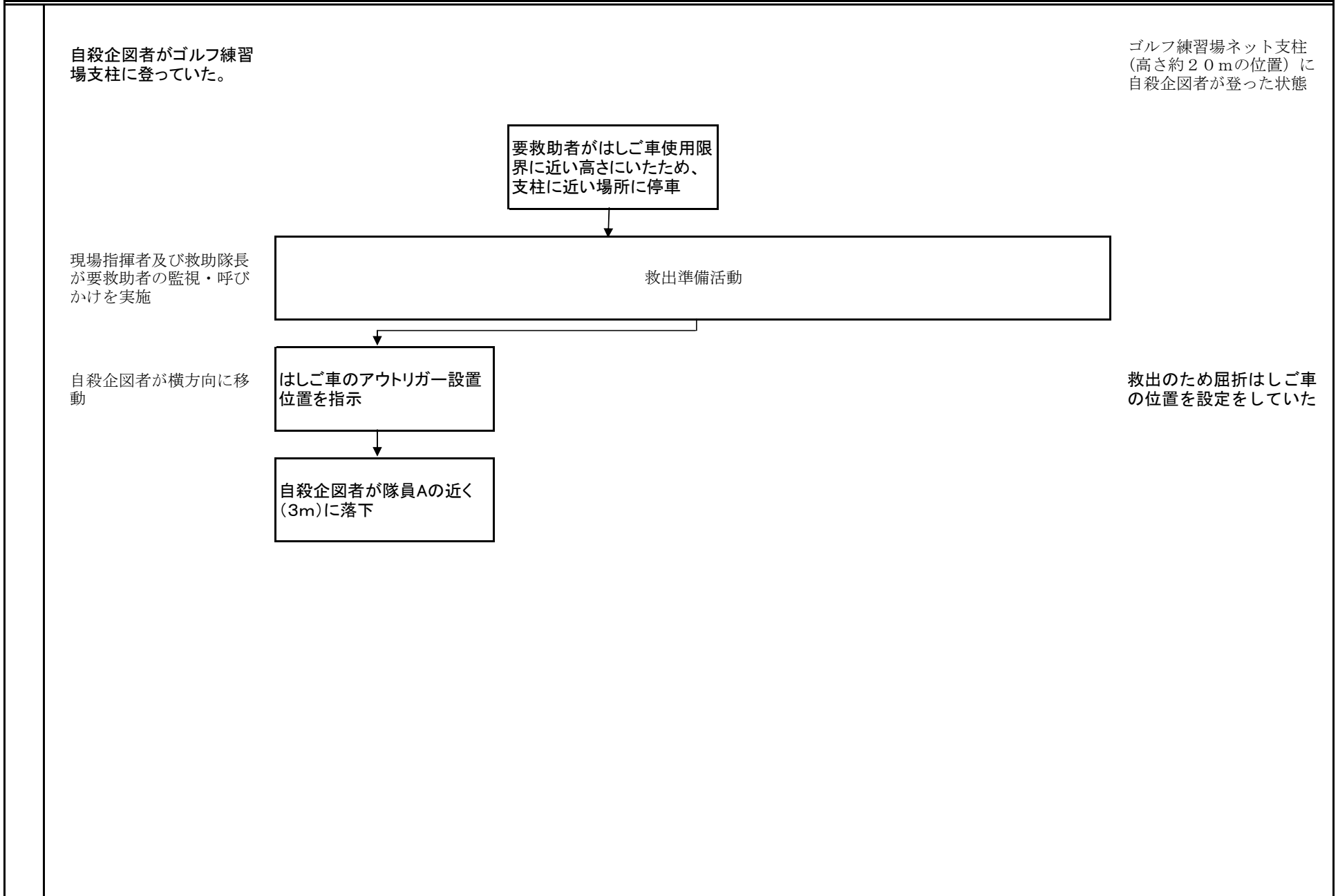


○ヒヤリハット事例：自殺企図者が活動していた隊員の近くに落下してきた事例
 (同様の体験は、初めて体験した。)

(08H0029)

・発生日時：平成19年2月8日 午前5時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	隊員C	隊員D	備考
		梯子隊の車長／消防司令補 ・年齢 35 歳 ・勤続 17 年 ・現場 17 年 ・同様の活動:過去に1・2回	機関員／消防副士長 ・年齢 30 歳 ・勤続 12 年 ・現場 12 年 ・同様の活動:過去に1・2回	隊員／消防副士長 ・年齢 26 歳 ・勤続 10 年 ・現場 150年 ・同様の活動:過去に1・2回	隊員／消防副士長 ・年齢 26 歳 ・勤続 4 年 ・現場 4年 ・同様の活動:初めて	



◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：行動の意志決定に問題があった。
- ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
- ・同じ現場に2回目の出場(1回目は救出)だったため、気持ちに油断が生じた。
- (活動環境について)
- ・支柱上の要救助者が横に移動したため転落の危険大となり、救出を急いだ。
- (指揮・管理について)
- ・要救助者の監視・呼びかけを現場指揮者にまかせ、救出準備活動をしていた。